

エレクターメトロマックスQ・トップトラック組立説明書

2004.10

この度は、エレクターメトロマックスQ トップトラックをお買い上げいただきましてありがとうございます。本製品を末永く安全にお使いいただくために、この説明書の「警告」「注意」を良くお読みいただき、ご理解のうえ遵守していただくようお願いいたします。

ご使用前に必ずお読みください

■ 組み立て前に部品の不足・欠損がないか、必ずご確認ください。

※ 商品には万全を期しておりますが、万一部品が不足・欠損していた場合は、組み立てを行わずお買い求めの販売店または弊社カスタマーサービスへご連絡ください。

■ 組み立ては、この説明書をよくお読みになり、手順に従って正しく組み立ててください。

■ 本書の「警告」「注意」をよくお読みいただき、ご理解の上遵守していただくようお願いいたします。

■ お取扱い上の不注意や商品の改造により生じた機能低下や事故については保証いたしかねます。



警告

● 耐荷重を超えて物を載せないでください。

耐荷重を超えた負荷を与えると、製品が破損する恐れがあります。

棚一段あたり耐荷重	375kg (等分布)
総耐荷重	固定ユニット1000kg, 移動ユニット300kg (本体の自重含む)

● 本製品を踏み台にしたり、ぶら下がったり上に登るような行為は絶対に行わないでください。

転倒や積載物の落下により重大な事故となる恐れがあります。

● 本製品を移動する際は、周囲の安全に十分配慮してください。

特に重量物の積載時には慣性が働き、不用意に扱うと重大な事故を起こす恐れがあります。



注意

● 組み立ては必ず2名以上で作業し、平坦で十分なスペースのある場所で行ってください。 床や壁面の保護のために当て布などを敷いて作業してください。

● 固定部品がずれたり、棚が水平になっていないなど組み立てが不完全な場合は、そのまま使用せずにもう一度組み立てなおしてください。

● 傾斜した場所や、床面がやわらかい場所など不安定な場所には設置しないでください。 積載物が落下して破損したり、転倒して思わぬ事故となる恐れがあります。

● 棚板の開口部より小さいものは、落下して破損する原因となりますので載せないようにしてください。

● 棚の高さを変更する際には、積載物をすべて降ろしてから行ってください。

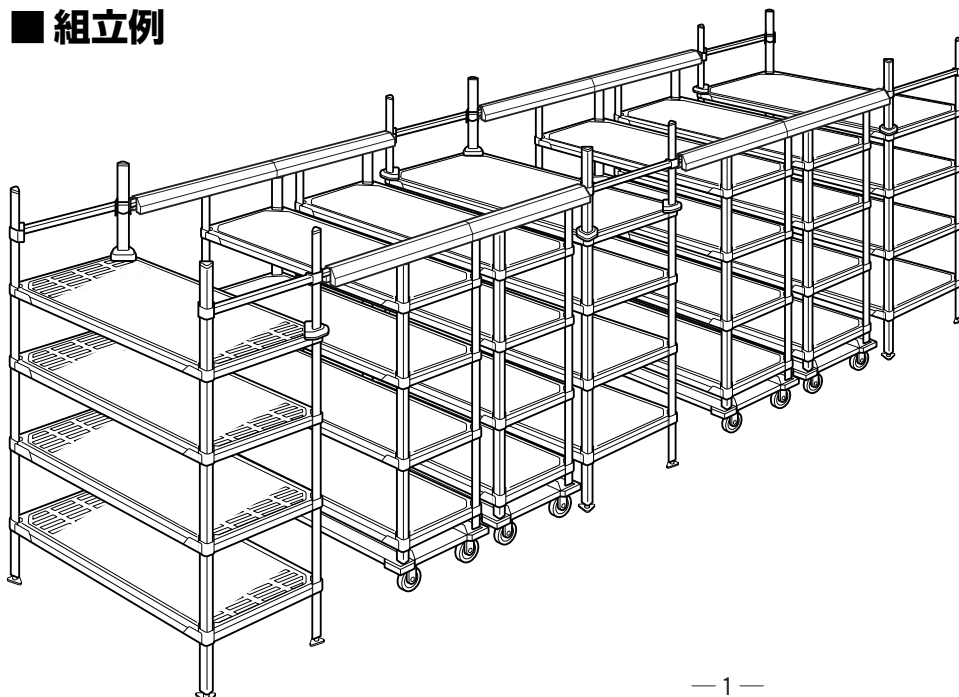
● 酸／アルカリ性の強い環境下での使用は避けてください。

● 有機溶剤やガソリン・油脂類の付着は車輪、本体等の劣化原因となります。

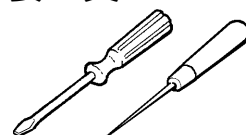
● 清掃の際には、中性洗剤をご使用ください。(水で濡らした布で拭いてください)

● トラック取付けボルトやジョイントボルトのゆるみ、固定／移動ユニットの組付け等を定期的に点検してください。

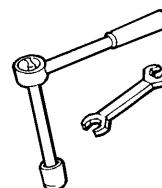
■ 組立例



■ 必要工具



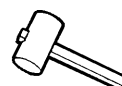
マイナスドライバー
または
千枚どうしの様な先のとがったもの



ソケットレンチまたはスパナ
(11, 17mm)

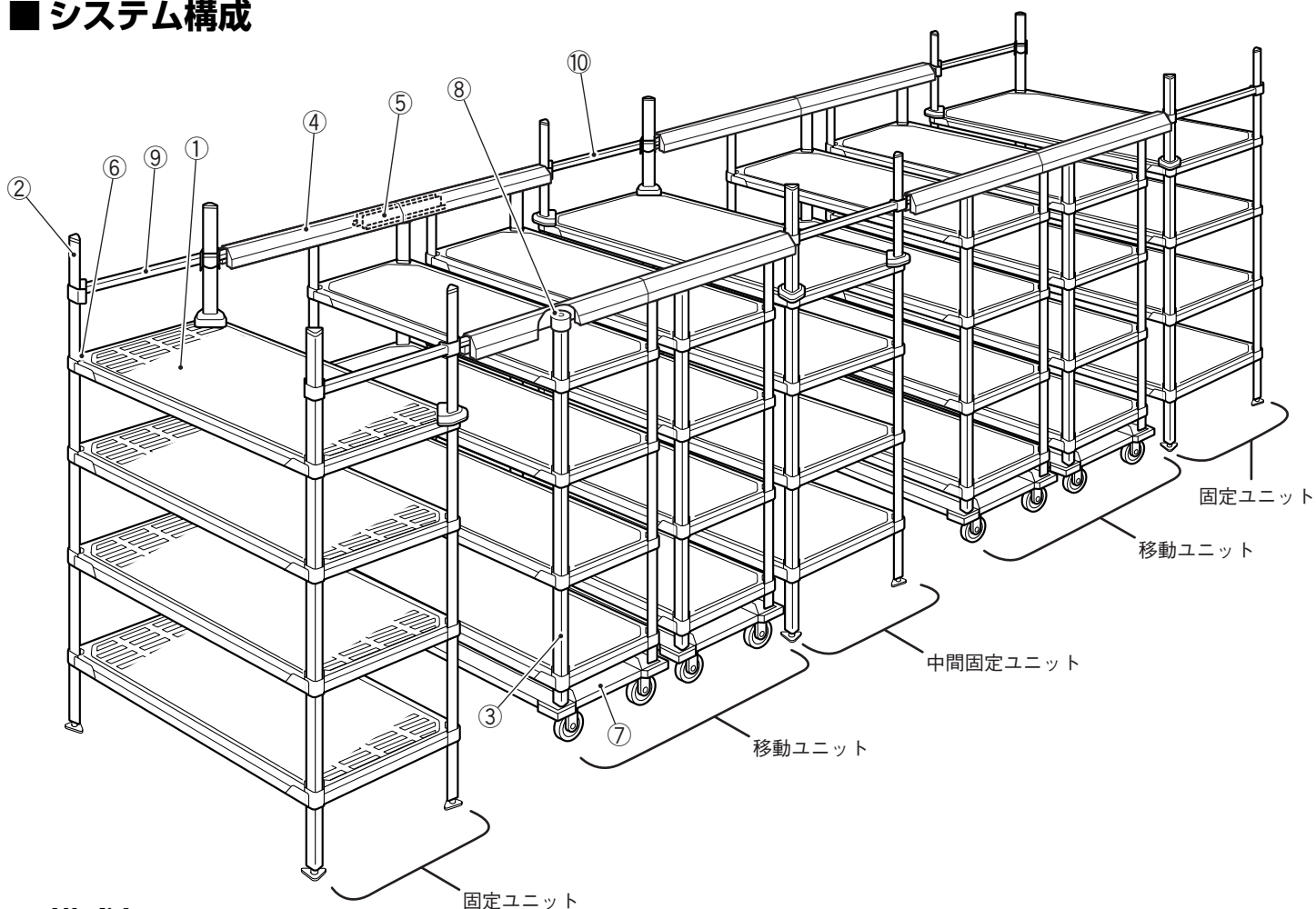


当て布

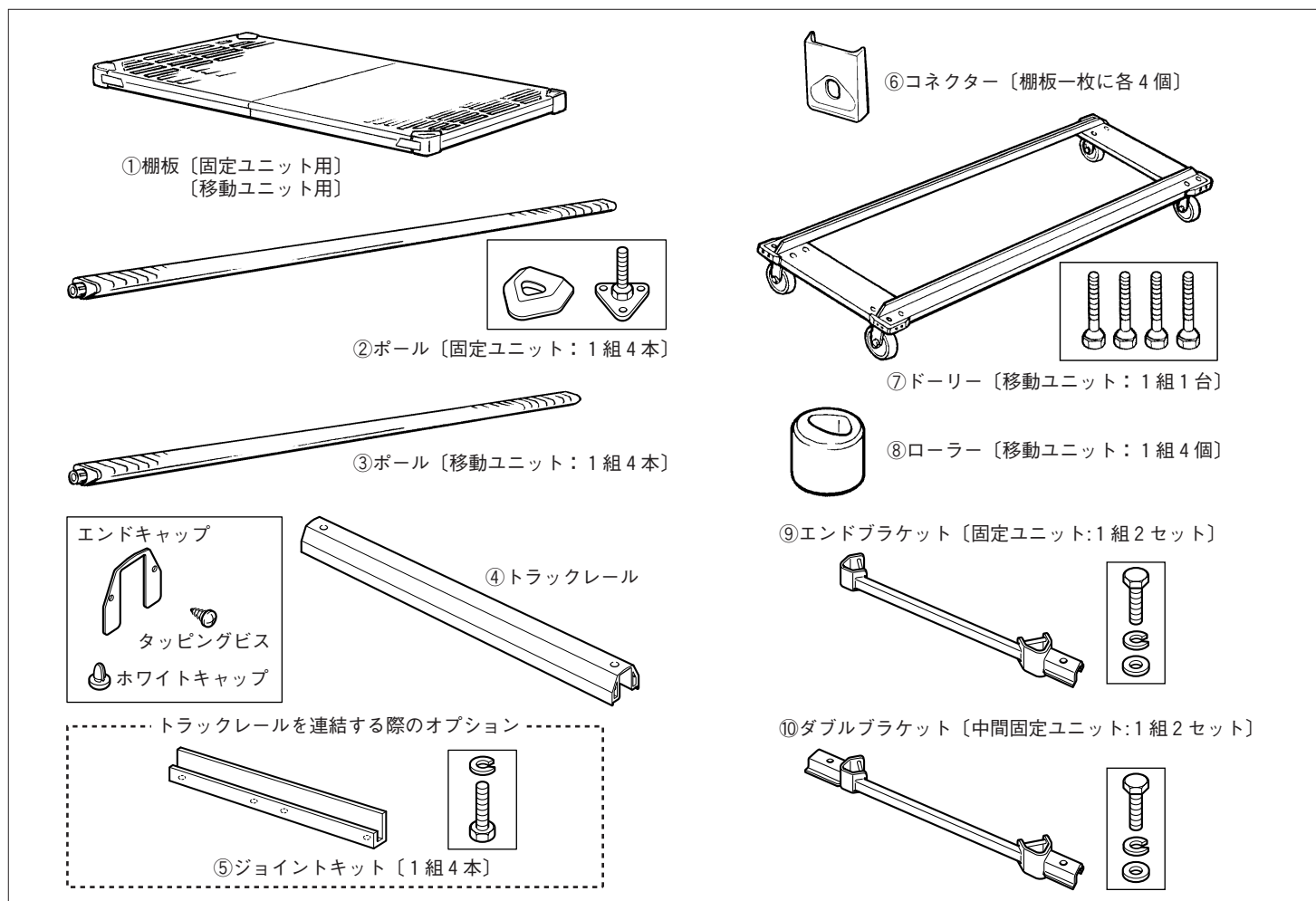


木槌またはプラスチックハンマー

■ システム構成

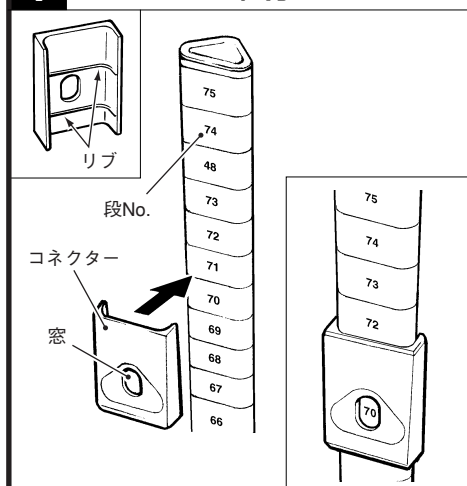


■ 構成部品



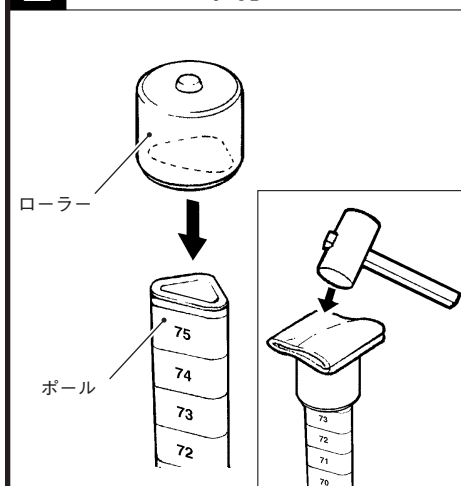
移動ユニットの組み立て

1 コネクターの組付け



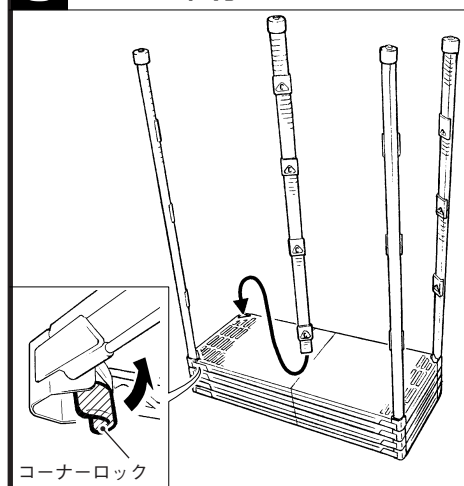
棚板を固定する高さにあわせてコネクターを柱に取り付けます。中央の窓の中にポールの数字が見える位置でリブを溝に合せて取付けます。上下に動かないことを確認してください。

2 ローラーの組付け



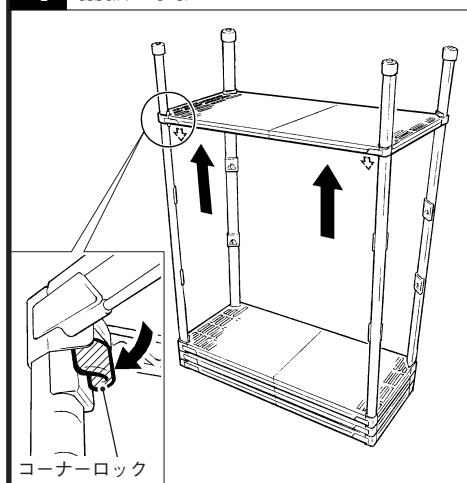
ポールの上端にローラーの溝を合わせて取り付けます。当て布を当てて木槌で軽くたたいて確実に取付けてください。

3 ポールの組付け



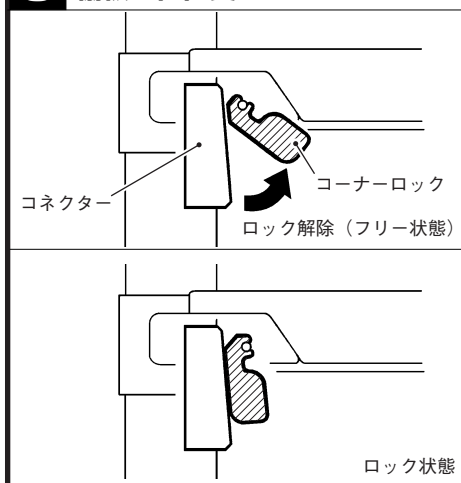
棚板のコーナーロックを内側に押し上げ、棚板をそろえます。棚板の四隅にポールを差し入れ、コネクターの位置にズレのないことを確認します。

4 棚板の固定



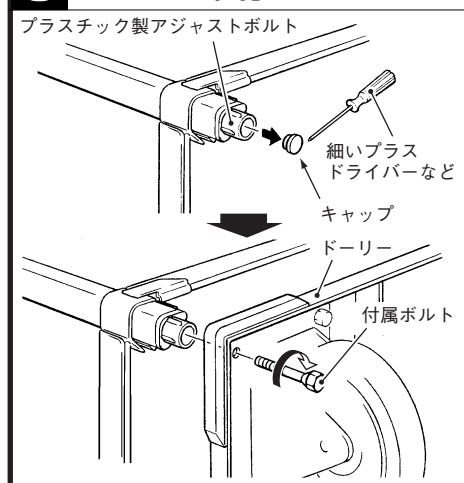
棚板を引上げ、コネクターの上端まで通過させた後、静かに降ろします。裏側のコーナーロックがコネクターに密着していることを確認し、密着していない場合は、ポール側へ押し込みます。

5 棚板の位置変え



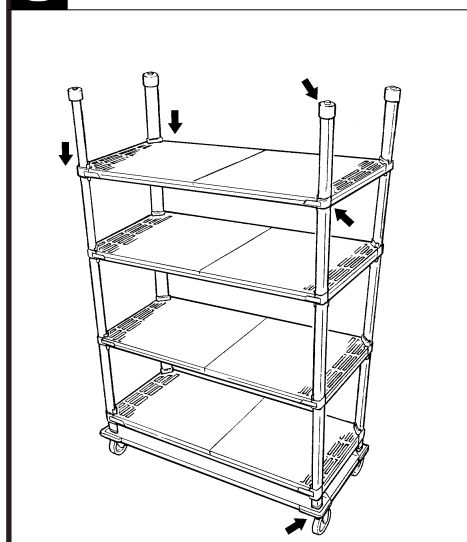
棚板の位置を変える場合には、コーナーロックを手前に引き上げ、ロックを解除します。ロックを解除すると棚板が落ちることがありますので、手で支えるなど十分に注意してください。

6 ドーリーの組付け



ポール下端のプラスチック製アジャストボルトのキャップを、細いプラスドライバーなどのもので突き刺して取り外します。ドーリーの四隅の孔に付属ボルトで図のようにポール下端へねじ込み固定します。

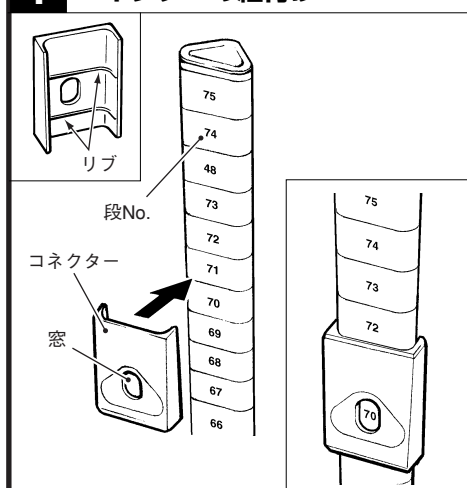
8 棚の組付け確認



組付けが終了したら、各部の固定が確実であることを確認してください。

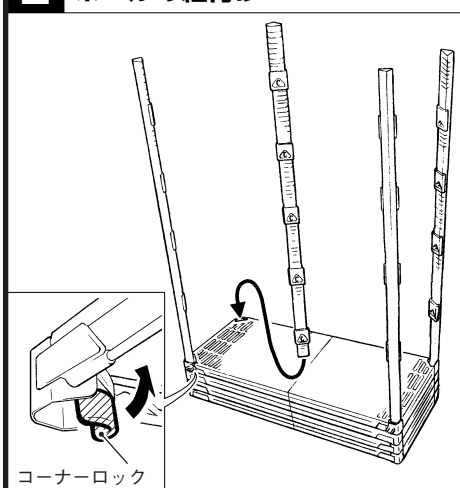
■ 固定ユニットの組み立て

1 コネクターの組付け



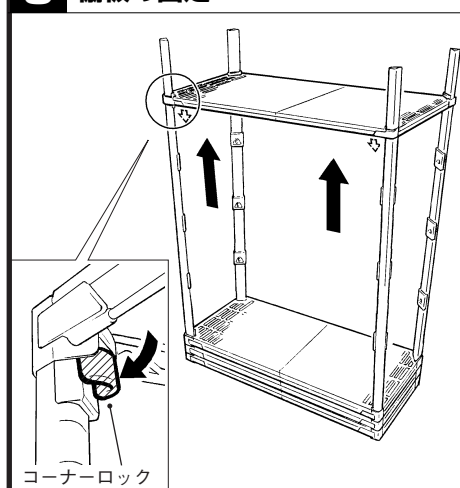
棚板を固定する高さにあわせてコネクターを柱に取り付けます。中央の窓の中にボールの数字が見える位置でリブを溝に合せて取付けます。上下に動かないことを確認してください。

2 ボールの組付け



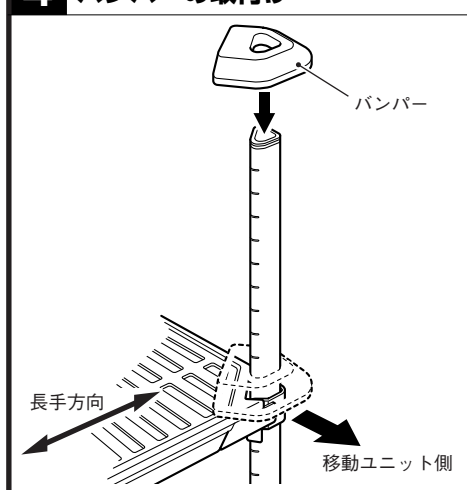
棚板のコーナーロックを内側に押し上げ、棚板をそろえます（最上段棚板は最上段へ）。棚板の四隅にボールを差し入れ、コネクターの位置にズレのないことを確認します。

3 棚板の固定



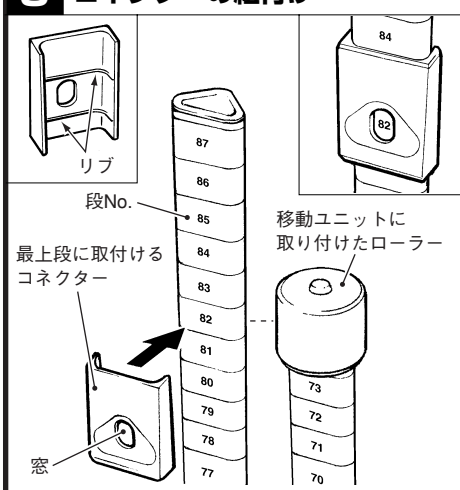
棚板を引上げ、コネクターの上端まで通過させた後、静かに降ろします。裏側のコーナーロックがコネクターに密着していることを確認し、密着していない場合は、ポール側へ押し込みます。

4 バンパーの取付け



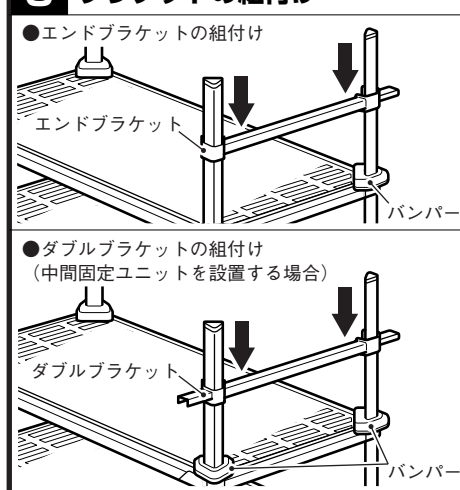
最上段の棚板を組付け終わったら、バンパーを移動ユニットの設置する側のポールに差し込みます。中間固定ユニットを設置する場合は、棚の四隅に取り付けます。

5 コネクターの組付け



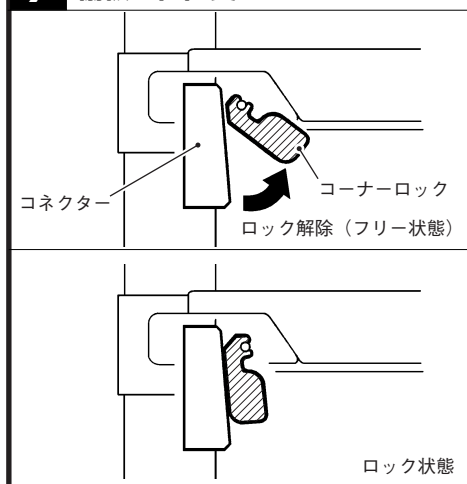
移動ユニットにあわせてコネクターをポールに取り付けます。エンド（ダブル）ブラケット取付用のコネクターは移動ユニットのローラーの高さに合わせます。中央の窓の中にボールの数字が見える位置でリブを溝に合せて取付けます。上下に動かないことを確認してください。

6 ブラケットの組付け



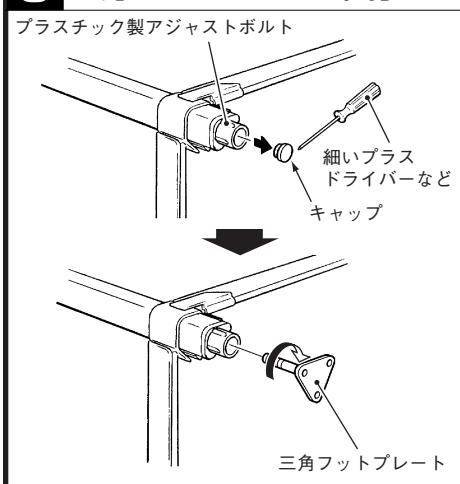
裏側のコーナーロックを押し上げ、ブラケットを組付けます。コーナーロックがコネクターに密着していることを確認し、密着していない場合は、ポール側へ押し込みます。

7 棚板の位置変え



棚板の位置を変える場合には、コーナーロックを手前に引き上げ、ロックを解除します。ロックを解除すると棚板が落ちることがありますので、手で支えるなど十分に注意してください。

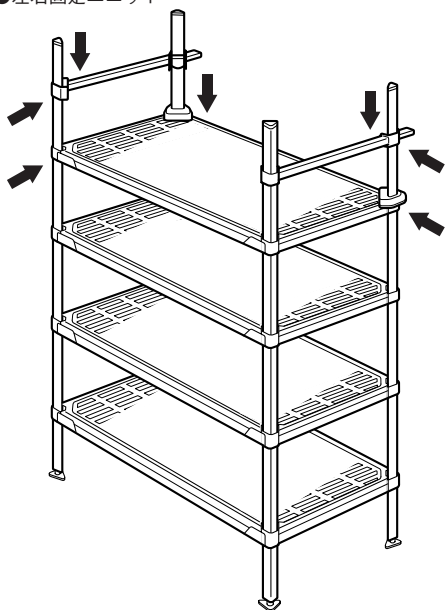
8 三角フットプレートの組付け



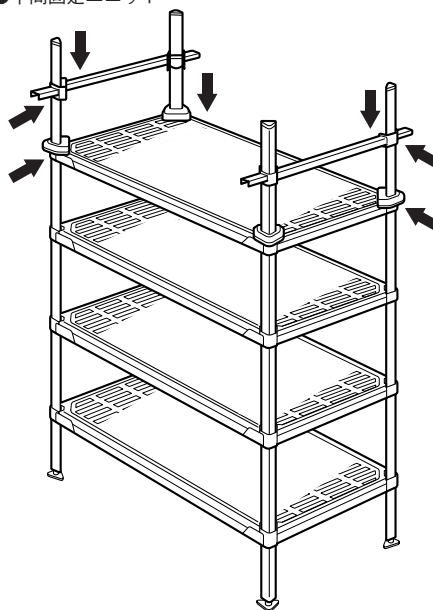
ポール下端のプラスチック製アジャストボルトのキャップを、細いプラスドライバーなどのもので突き刺して取り外します。キャップを外した後、三角フットプレートをねじ込み固定します。

9 棚の組付け確認

●左右固定ユニット



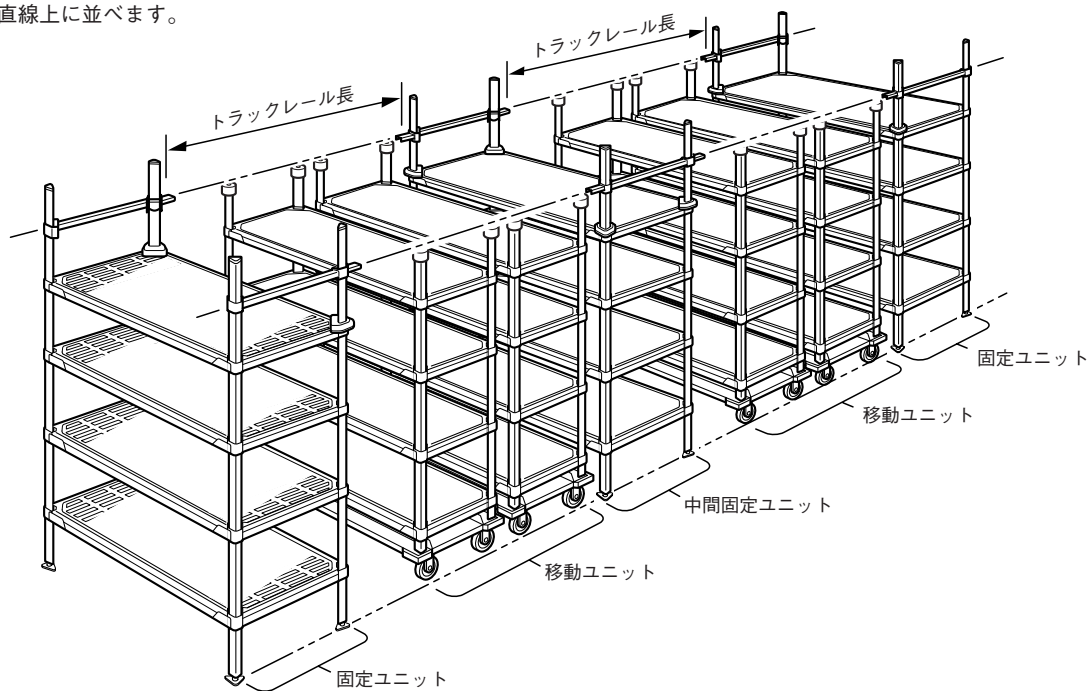
●中間固定ユニット



組付けが終了したら、各部の固定が確実であることを確認してください。

10 設置要領

●各ユニットを一直線上に並べます。

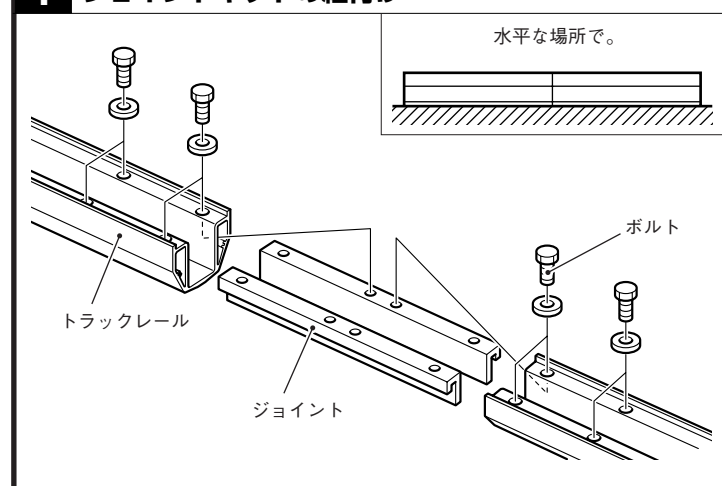


固定ユニットはエンドブラケットが、向かい合うようにトラックレールの長さ分間隔を開けて一直線上に設置します。
移動ユニットは向かい合った固定ユニットの間に一列に並べて設置します。

■ トラックレールの組み立て

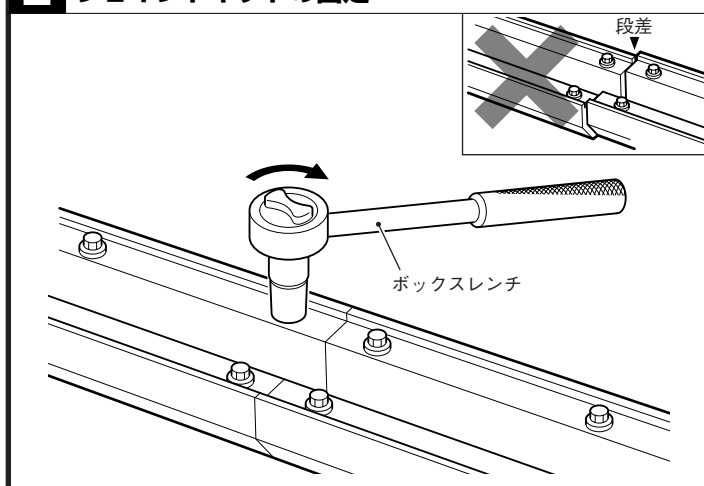
ジョイントキットをご使用にならない場合は、**3 エンドキャップ、ホワイトキャップの取付け**から組立てを行ってください。

1 ジョイントキットの組付け



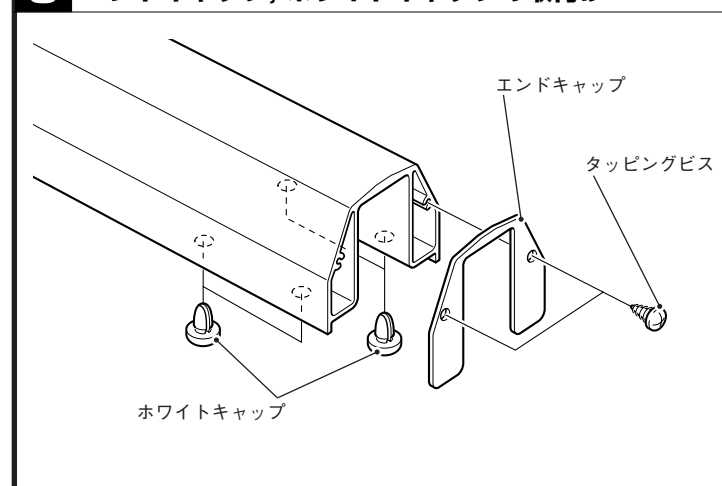
トラックレールを水平な場所に置き、トラックレールとジョイントの穴位置を合わせ、ボルトで仮止めします。

2 ジョイントキットの固定



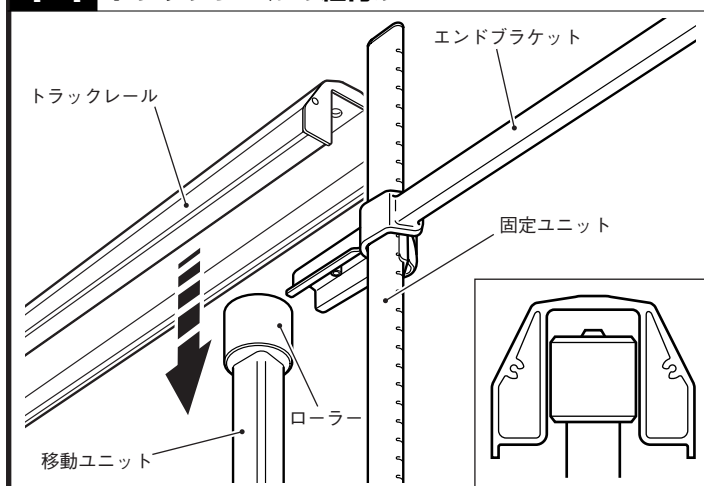
トラックレールの継ぎ目に、**段差がつかない様**、注意しながらボルトを締め付けてください。

3 エンドキャップ、ホワイトキャップの取付け



トラックレールの両端開口部をエンドキャップでふさぎ、タッピングビスで固定します。ホワイトキャップでトラックレール両端下部の穴（4×2箇所）をふさぎます。

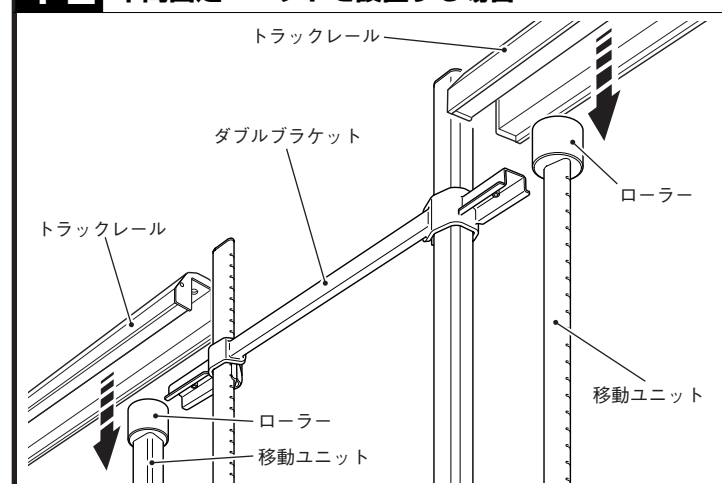
4-1 トラックレールの組付け



トラックレールの溝部を移動ユニット上部のローラーに合わせ、固定ユニットのエンドブラケット上部に静かに載せます。

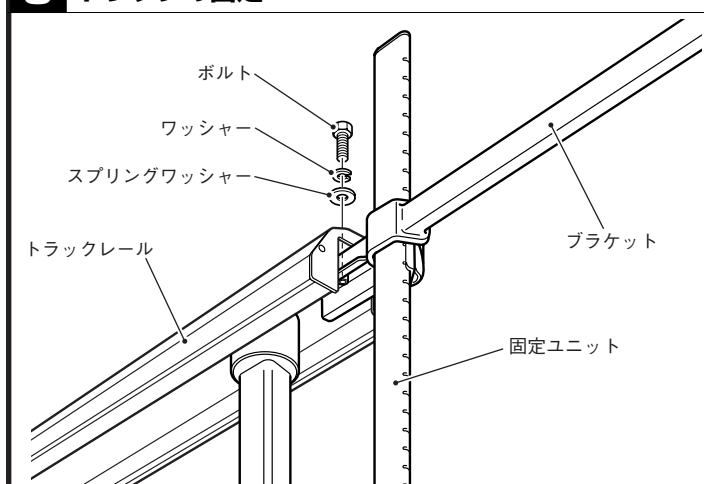
ご注意 トラックレールは落とすと危険ですので、注意して静かに固定ブラケットの上に載せます。

4-2 中間固定ユニットを設置する場合



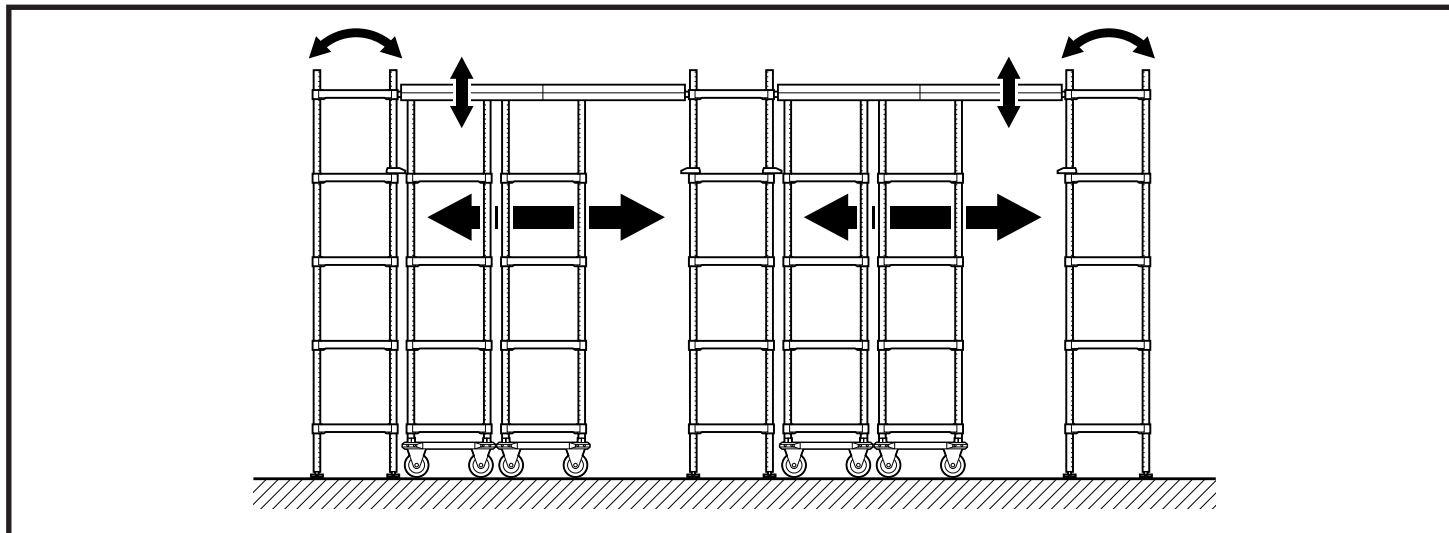
トラックレールの溝部に移動ユニット上部のローラーを合わせ、ダブルブラケットの両側に載せます。

5 トラックの固定



トラックレールとブラケットの穴位置を合わせ、ボルトとワッシャーを組み込み、締め付けます。

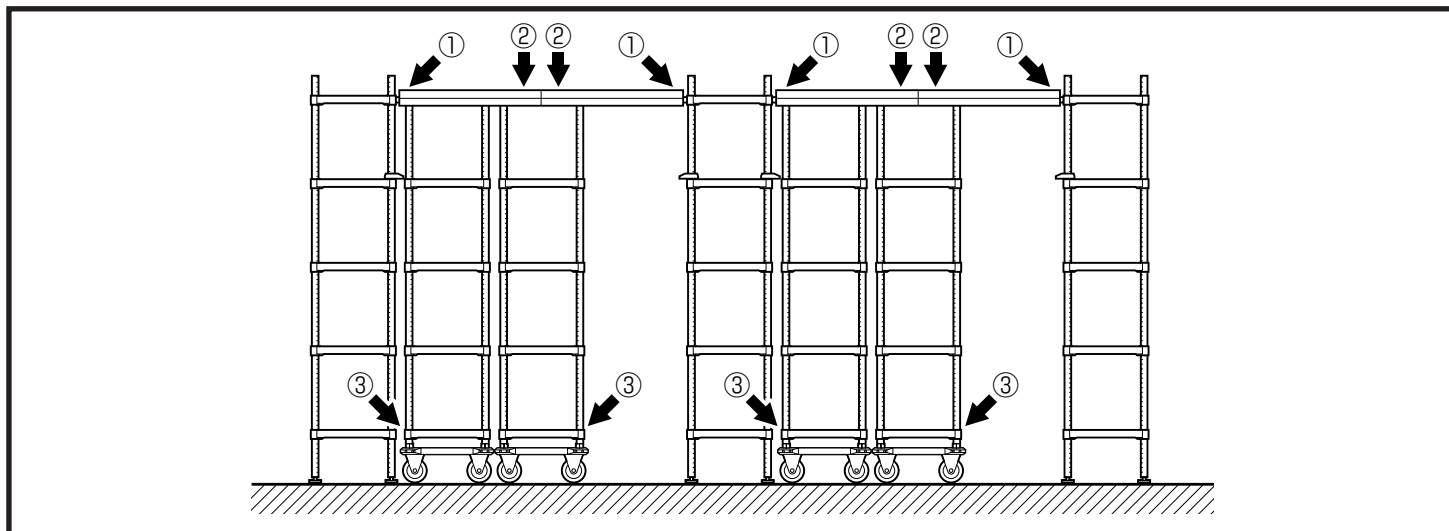
■ 完成チェック



全体が組み上がりましたら、各部のゆがみやガタつき、及び移動ユニットがスムーズに動くことを確認し、ボルトを増し締めします。

ご注意 移動ユニットとトラックレールの関係がずれていないかをもう一度確認してください。

■ 定期点検の注意



①エンドブラケット・ダブルブラケットの組み付けボルトのゆるみ、②ジョイントキットのボルトのゆるみ、③移動ユニットのボールのゆるみ等を定期的に点検してください。



エレクター株式会社

本社：〒150-0002 東京都渋谷区渋谷2-15-1 渋谷クロスタワー8F
TEL.03-5766-8166(代) FAX.03-5766-8191
支店・営業所：大阪・名古屋・福岡・仙台・札幌

●商品についてのお問い合わせは **カスタマーサービス**



0120-707-532

(受付時間：9:00～17:30)
土・日・祝日を除く

エレクターホームページ <http://www.erecta.co.jp>